

## 10-9 防災・減災まちづくりの推進による効果

## 10-9-1 地震・津波災害

本市では、東北地方太平洋沖地震以降、地震・津波に対し、まず、市民の「命を守る」こと、次に「財産を守る」こと、そして産業の継続性を維持するための「生産活動を守る」ことを前提とした、様々な防災・減災対策を推進してきました。これまで実施してきた対策や現在進められている対策により、津波浸水区域の減少などの一定の防災・減災効果が検証・確認されています。

## (1) 避難施設の整備による効果

以下に「焼津市地震・津波対策アクションプログラム2014」における「津波に備える体制の整備」に向けたアクションとその目標指標の達成状況を示します。令和3年度（2021年度）末実績の時点で、すべての数値目標が達成され、津波に備えるためのハード・ソフトによる体制整備の推進により、避難体制が充実しました。引き続き、「焼津市地震・津波対策アクションプログラム2023」の推進により、さらなる充実を目指した取組を推進していきます。

表-11 焼津市地震・津波対策アクションプログラム2014で達成した「津波に備える体制の整備」の進捗状況  
(資料:「焼津市地震・津波対策アクションプログラム2014」進捗実績(令和3年度(2021年度)末)焼津市)

No.	アクション名	目標指標	数値目標	2021年度末実績 (数値目標に対する進捗率)	達成時期	市 担当	
29	津波避難対策の促進 (津波避難施設の整備)	津波避難施設整備 (津波避難ビル221施設)	100%	達成済	2015年度末	防災部	防災計画課
30	津波避難対策の促進 (津波避難施設の整備)	津波避難施設整備 (津波避難タワー20基)	100%	達成済	2013年度末	防災部	防災計画課
31	津波避難対策の促進 (津波避難施設の整備)	津波避難施設整備 (高台整備3箇所)	100%	達成済	2015年度末	防災部	防災計画課
32	津波避難対策の促進 (津波避難施設の整備)	市有津波避難施設の充足率	100%	100%	2022年度末 (維持)	防災部	防災計画課
33	津波避難対策の促進 (津波避難施設の整備)	津波避難施設整備 (津波救命艇1艇)	100%	達成済	2014年度末	防災部	防災計画課
34	津波避難対策の促進 (津波避難施設の整備)	津波避難施設整備 (焼津漁港内における津波避難タワーの 高上げ4基)	100%	達成済	2020年度末	経済部	漁港振興課
35	津波避難対策の促進 (津波避難施設の整備)	小中学校の屋上避難施設(5箇所) の整備率	100%	達成済	2015年度末	教育委員会 事務局	教育総務課
36	港湾・漁港の津波避難困難 エリアの解消(津波避難 施設の整備)	港湾・漁港内で津波から安全に避難す ることが困難な17(大井川港臨港地区 1.02ha)の解消率	100%	達成済	2013年度末	建設部	大井川港 管理事務所



写真-13 津波避難タワー



写真-14 津波避難ビル



写真-15 高台広場

■津波一時避難施設の立地状況

以下に津波浸水想定区域（レベル2）と、津波一時避難施設（高台、指定津波避難タワー、指定津波避難ビル、民間津波避難協力ビル）の立地状況を4地域ごとに示します。

【東益津地域における津波浸水想定区域（レベル2）と津波一時避難施設の立地状況】

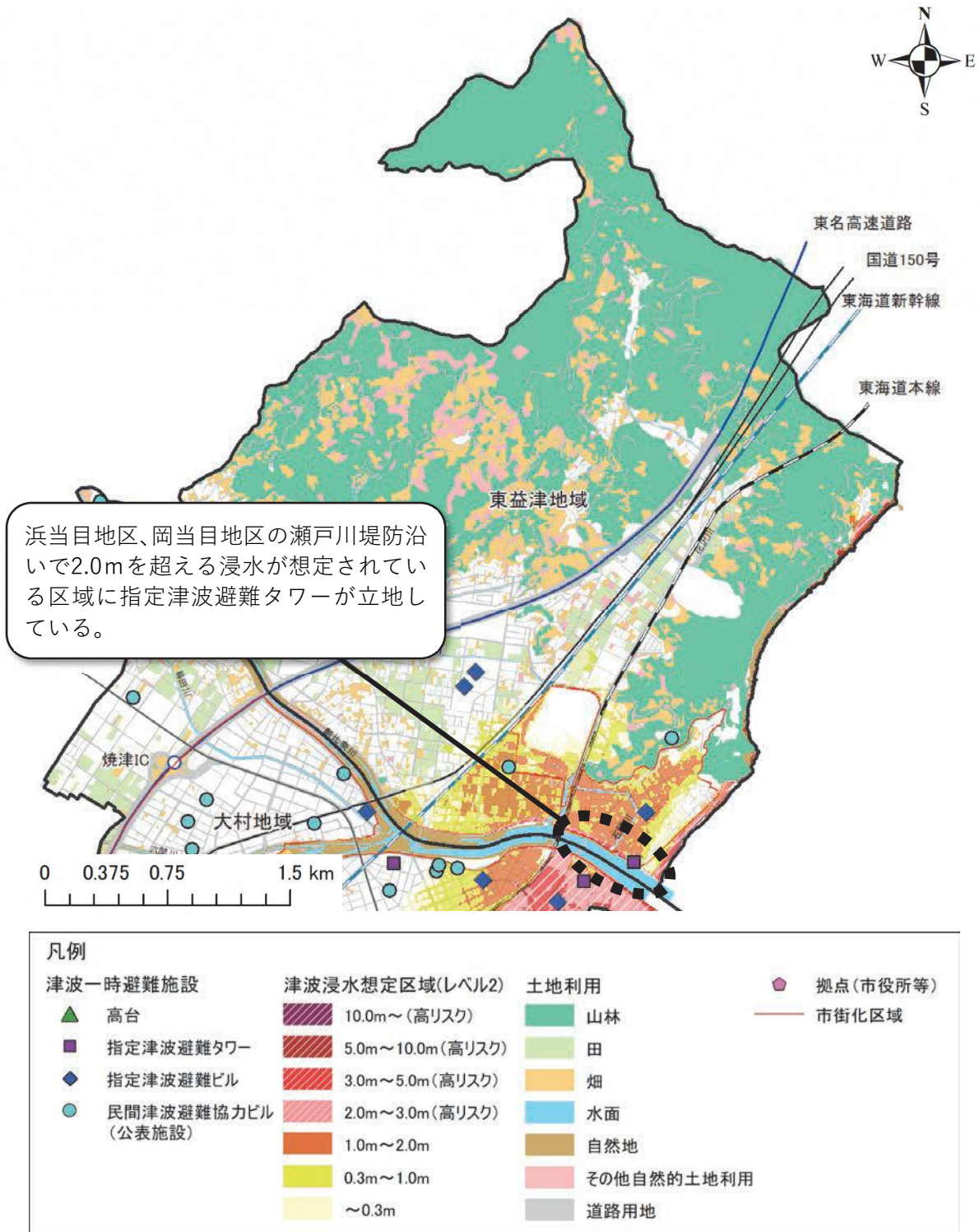


図-73 東益津地域における津波浸水想定区域（レベル2）と津波一時避難施設の立地状況

【焼津・大村・豊田・小川地域における津波浸水想定区域（レベル2）と津波一時避難施設の立地状況】

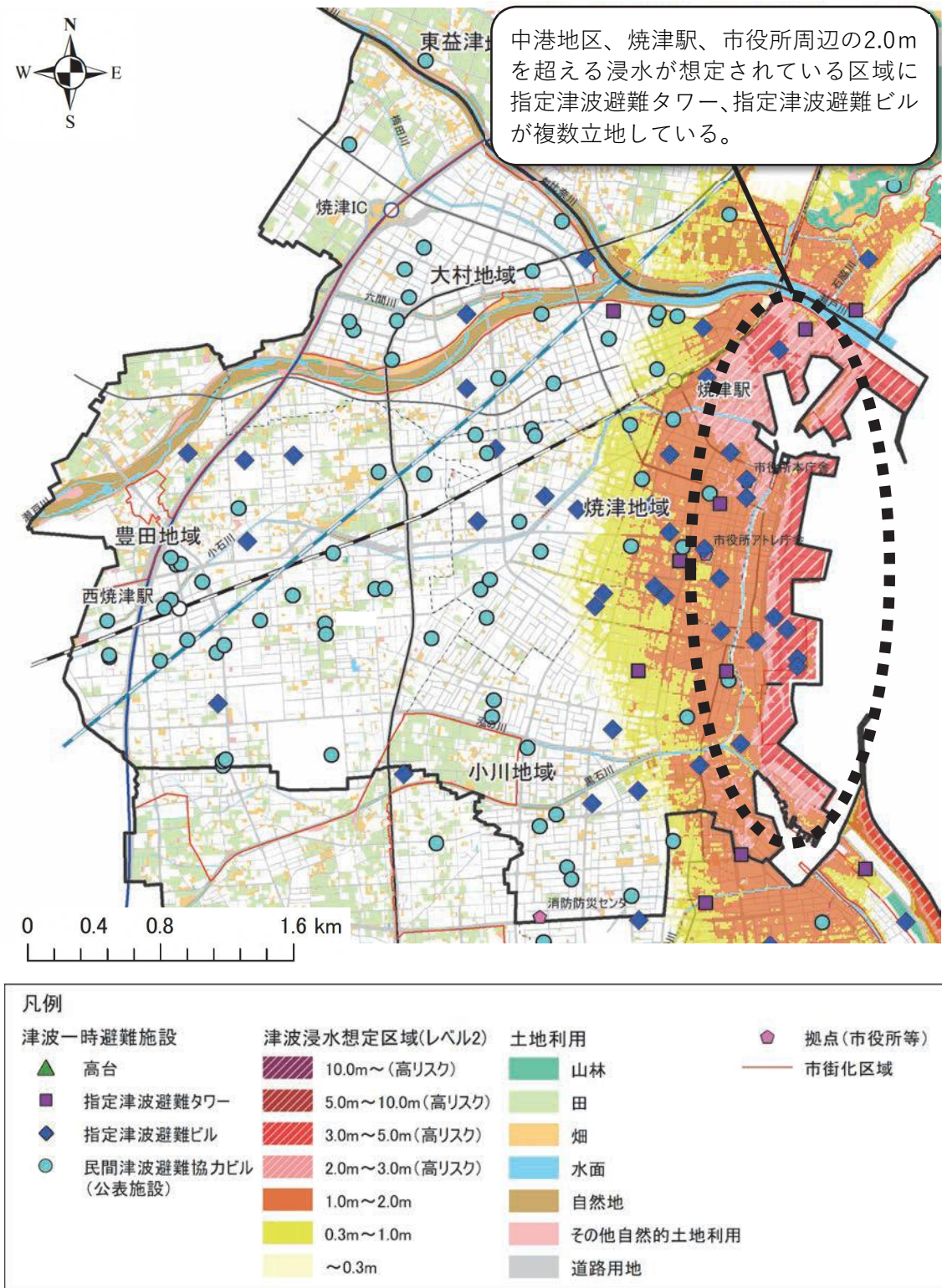


図-74 焼津・大村・豊田・小川地域における津波浸水想定区域（レベル2）と津波一時避難施設の立地状況

1章  
はじめに

2章  
立地適正化計画の  
基本的な方針

3章  
住まいるシティ  
拠点エリア

4章  
誘導施設

5章  
住まいるエリア

6章  
誘導施策

7章  
計画目標と  
進捗管理

8章  
住まいるエリア以外の  
地域のまちづくり

9章  
届出制度

10章  
防災・減災  
まちづくり計画編

11章  
参考資料

【港・大富・和田地域における津波浸水想定区域（レベル2）と津波一時避難施設の立地状況】

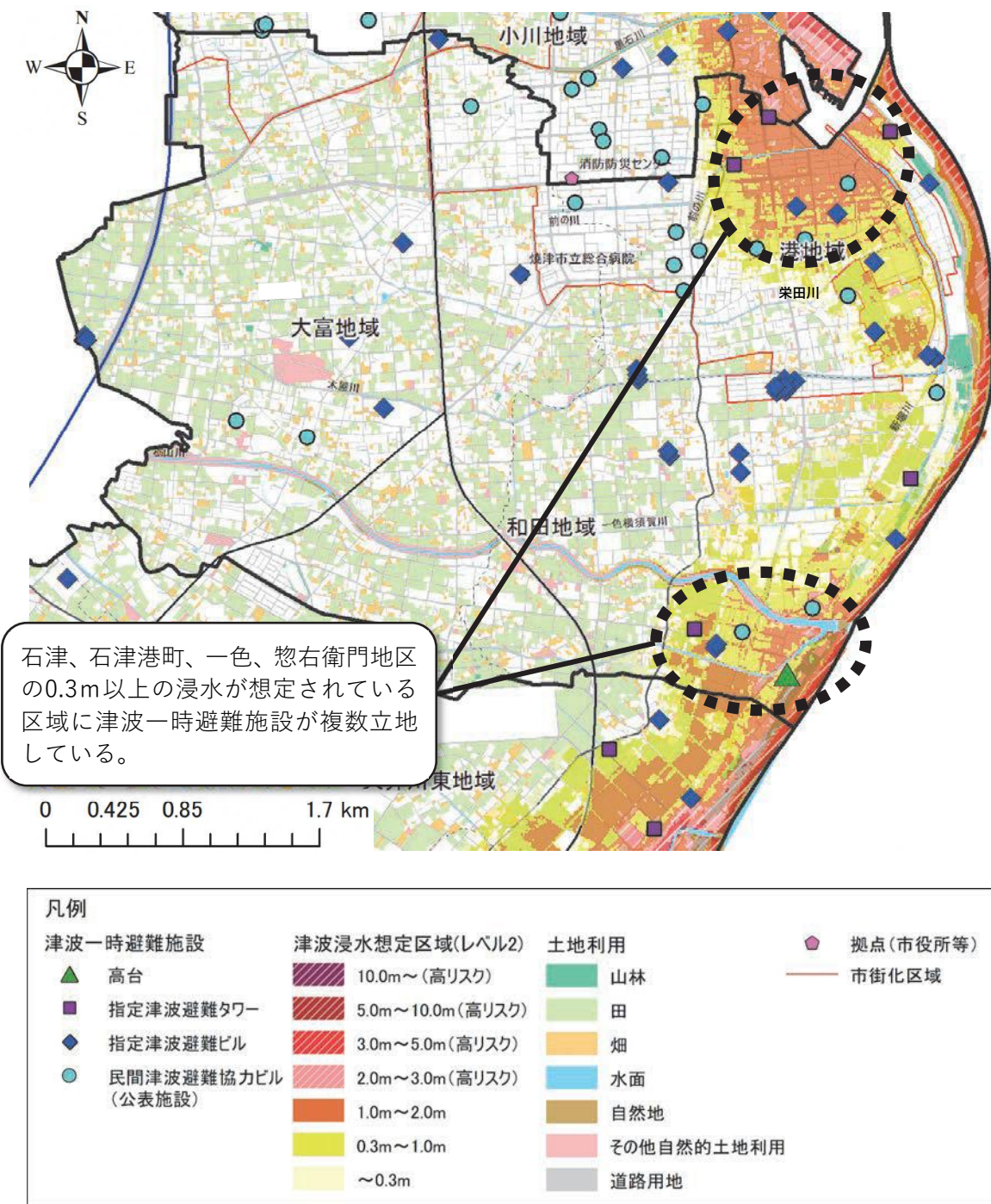


図-75 港・大富・和田地域における津波浸水想定区域（レベル2）と津波一時避難施設の立地状況

【大井川地域における津波浸水想定区域（レベル2）と津波一時避難施設の立地状況】

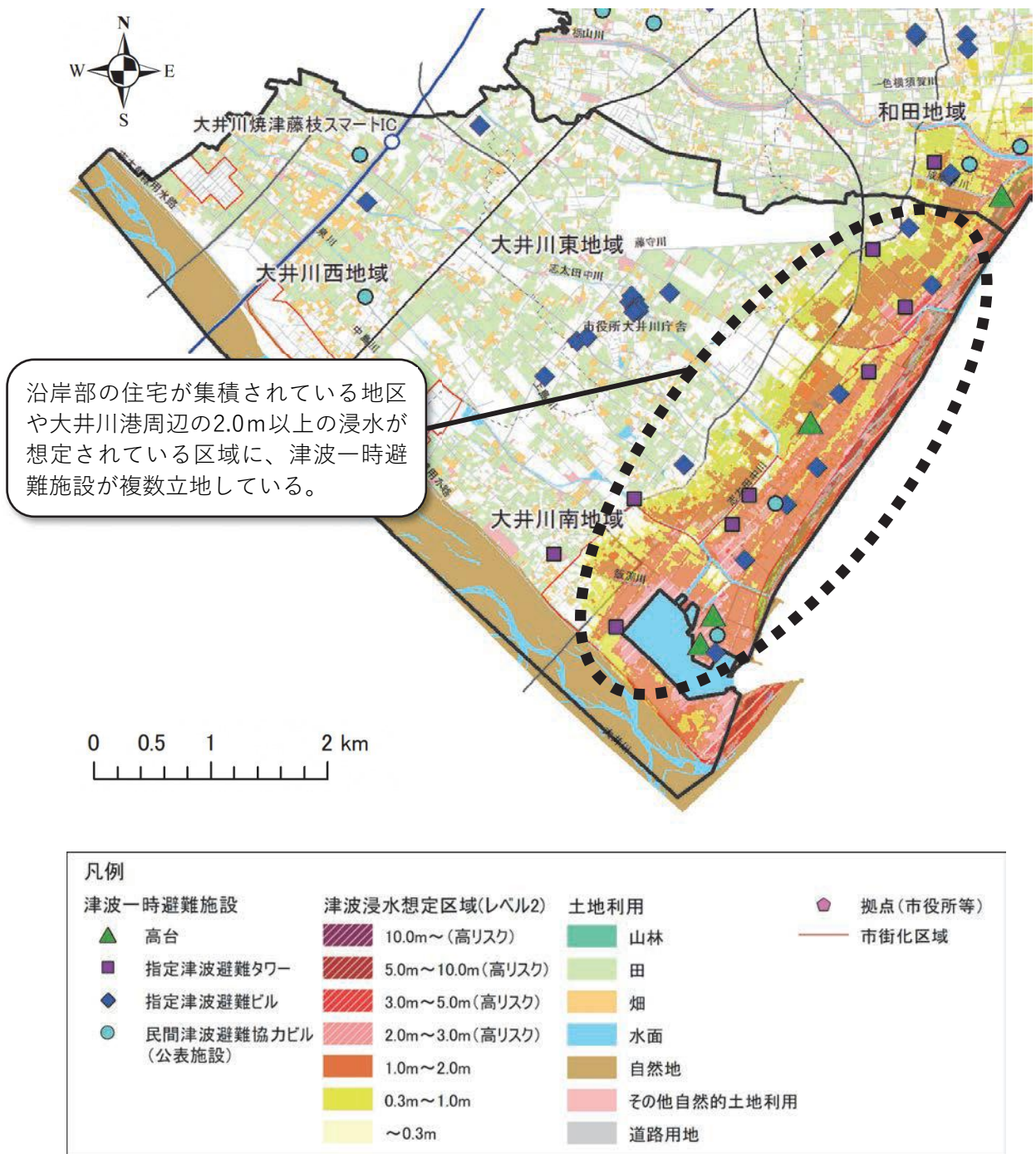


図-76 大井川地域における津波浸水想定区域（レベル2）と津波一時避難施設の立地状況

1章 はじめに

2章 立地適正化計画の基本的な方針

3章 住まいるシティ拠点エリア

4章 誘導施設

5章 住まいるエリア

6章 誘導施設

7章 計画目標と進行管理

8章 住まいるエリア以外の地域のまちづくり

9章 届出制度

10章 防災・減災まちづくり計画編

11章 参考資料

(2) 防潮堤の整備等による効果

以下に「焼津市地震・津波対策アクションプログラム2023」における「津波を防ぐ施設の整備」に向けたアクションとその目標指標における進捗状況を示します。

「10-7 防災・減災まちづくりの課題」で挙げた沿岸部における課題である「津波による建物倒壊・人的被害」の軽減に向けた取組を引き続き実施していきます。

表-12 焼津市地震・津波対策アクションプログラム2023における「津波を防ぐ施設の整備」の進捗状況  
(資料:「焼津市地震・津波対策アクションプログラム2023」進捗状況、焼津市)

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末 (2022) 実績見込み	令和7年度 (2025) 数値目標	令和14年度 (2032) 数値目標	市 担当	
18	津波対策施設(海岸)の 高さの整備	レベル1津波に対し防護が必要な海岸 (2,600m)のうち、高さを満たす海 岸堤防の整備率	10.8%	19%	41%	建設部	大井川港 管理事務所
19	津波到達までに閉鎖可能 な津波対策施設の整備	藤守川耐震水門の整備率	—	未定	未定	建設部	河川課
20	津波到達までに閉鎖可能 な津波対策施設の整備	飯淵川耐震水門の整備率	—	未定	未定	建設部	河川課
21	津波到達までに閉鎖可能 な津波対策施設の整備	大井川港普通河川水門の整備率	—	未定	未定	建設部	河川課
22	津波到達までに閉鎖可能 な津波対策施設の整備	津波対策施設(大井川港港口水門)の 整備率	—	未定	未定	建設部	大井川港 管理事務所
23	津波対策施設(海岸)の 耐震化	レベル1津波に対し防護が必要な海岸 (1,139m)のうち、耐震性を有する 海岸堤防の整備率	10.4%	49%	69%	建設部	大井川港 管理事務所
24	津波対策施設(海岸)の 粘り強い構造への改良	レベル1津波に対し防護が必要な海岸 (1,139m)のうち、粘り強い構造を 有する海岸堤防の整備率	10.4%	49%	69%	建設部	大井川港 管理事務所
25	漁港の防波堤の粘り強い 構造への改良	焼津漁港内における粘り強い構造への 改良が必要な防波堤の整備率	69.1%	76.2%	91.2%	経済部	漁港振興課
26	遠州灘及び志太榛原地域 における、沿岸各地域の 地形等の特性を活かして レベル1を超える津波に 対する安全度の向上を図 る「静岡モデル防潮堤」 の推進	潮風グリーンウォークの整備率	90%	100%	100%	建設部	河川課



写真-16 焼津漁港 (胸壁)



写真-17 焼津漁港  
(防波堤の粘り強い化)



写真-18 大井川港 (胸壁)



写真-19 潮風グリーンウォーク

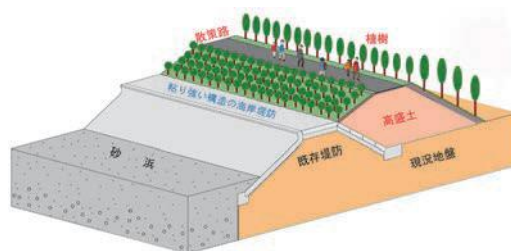


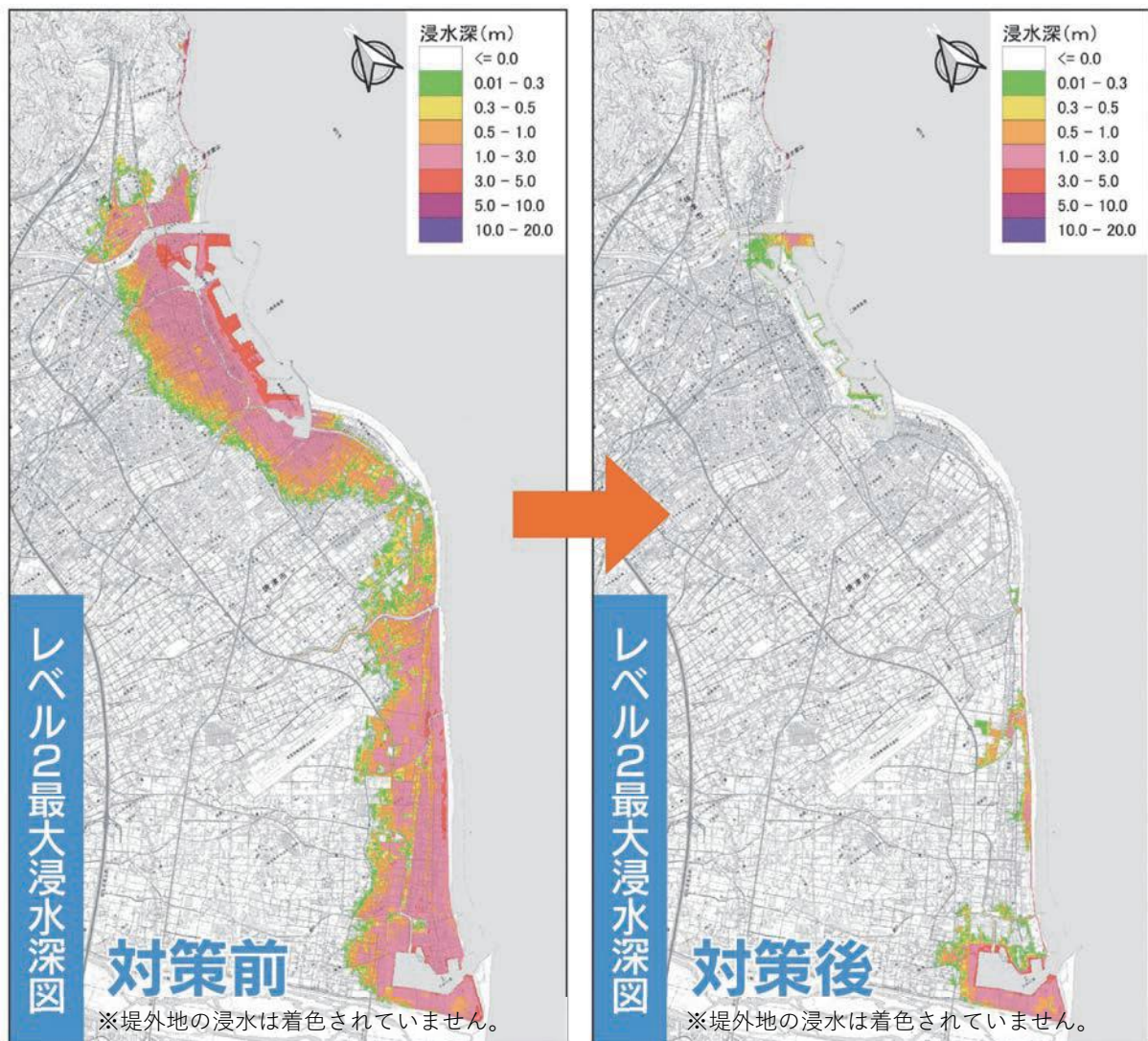
図-77 潮風グリーンウォーク完成予想図

1章 はじめに  
2章 立地適正化計画の基本的な方針  
3章 住まいるシティ 拠点エリア  
4章 誘導施設  
5章 住まいるエリア  
6章 誘導施設  
7章 計画目標と進捗管理  
8章 住まいるエリア以外の地域のまちづくり  
9章 届出制度  
10章 防災・減災まちづくり計画編  
11章 参考資料

## ■焼津市津波シミュレーション

本市では、東北地方太平洋沖地震での教訓を踏まえ、想定される被害を可能な限り軽減することを目指して、ハード・ソフト両面の対策を組み合わせた津波・地震対策の取組を進めています。焼津市津波シミュレーションでは、その対策の中で、津波対策施設（焼津漁港・大井川港内の胸壁、潮風グリーンウォーク、海岸堤防の粘り強い構造への改良など）の整備により、発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震による津波（レベル2津波）に対する減災効果を検証しています。

なお、シミュレーションは、津波対策施設の高さが津波襲来時においても維持され、その効果が最大限発揮された場合として、本市が独自に実施したものです。



シミュレーション結果では、本市で既に整備済の施設に加え、現在整備中または今後整備予定、検討中の施設が完成し、施設の効果が最大限発揮された場合、最大クラスの津波による市内の浸水面積が85%減少するとしています。

1章 はじめに

2章 立地適正化計画の基本的な方針

3章 住まいるシティ

4章 誘導施設

5章 住まいるエリア

6章 誘導施設

7章 計画目標と進行管理

8章 住まいるエリア以外の地域のまちづくり

9章 届出制度

10章 防災・減災まちづくり計画編

11章 参考資料

以下に東益津地域における津波対策施設の整備前後の津波浸水想定区域（レベル2）を示します。

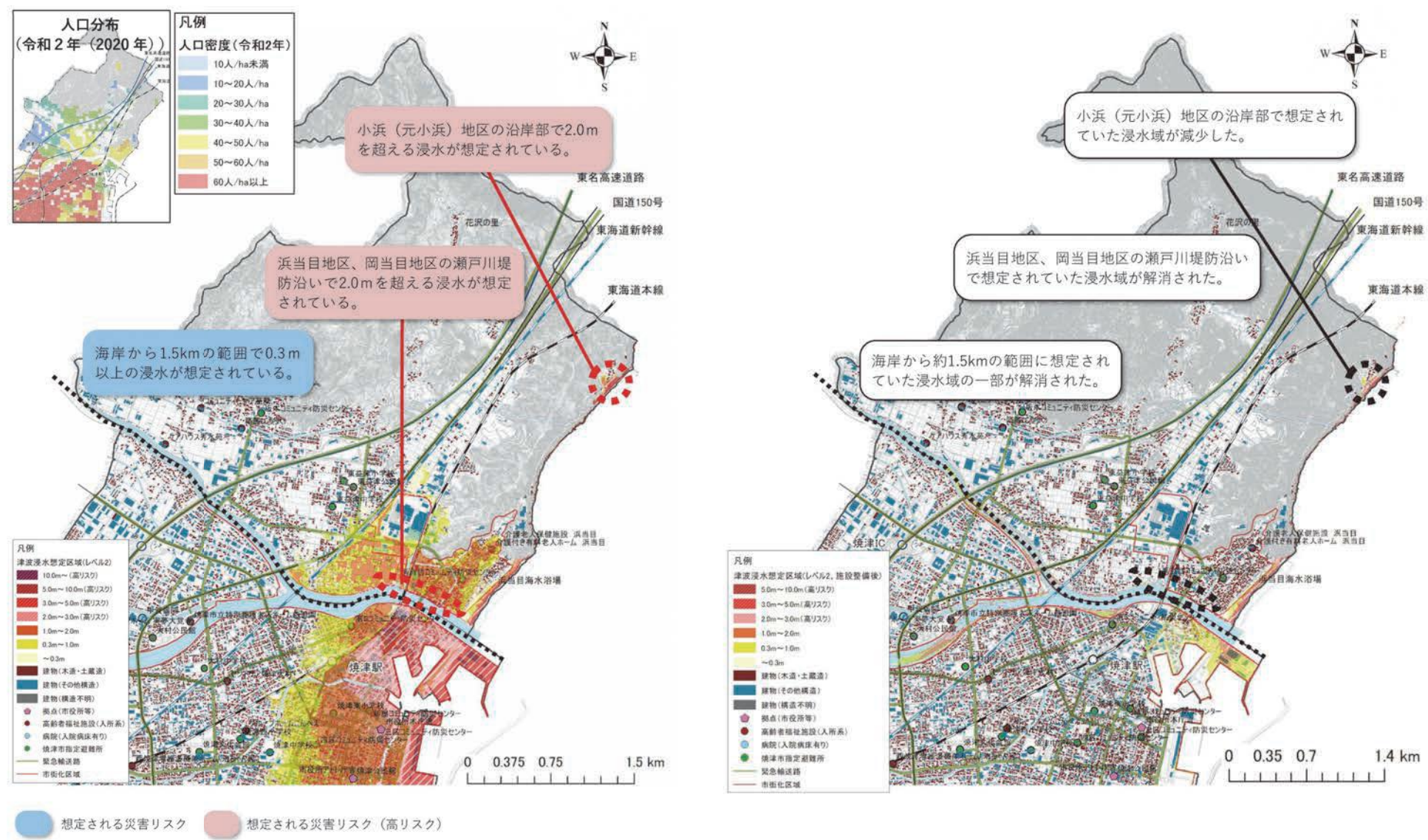


図-78 東益津地域における津波浸水想定区域（レベル2）（左図：津波対策施設の整備前、右図：津波対策施設の整備後のシミュレーション結果）



以下に焼津・大村・小川・豊田地域における津波対策施設の整備前後の津波浸水想定区域（レベル2）を示します。

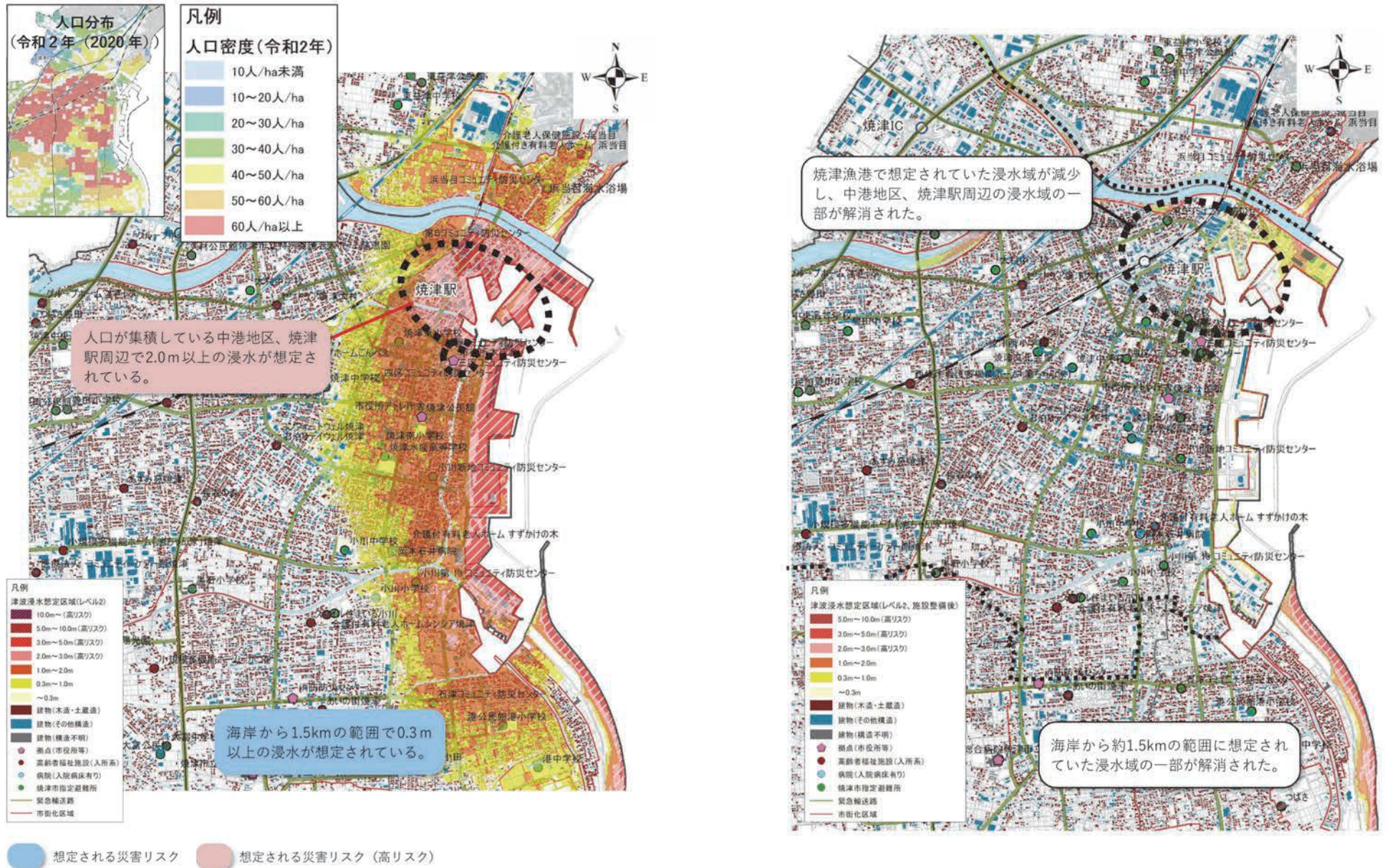


図-79 焼津・大村・小川・豊田地域における津波浸水想定区域（レベル2）（左図：津波対策施設の整備前、右図：津波対策施設の整備後のシミュレーション結果）

以下に港・大富・和田地域における津波対策施設の整備前後の津波浸水想定区域（レベル2）を示します。

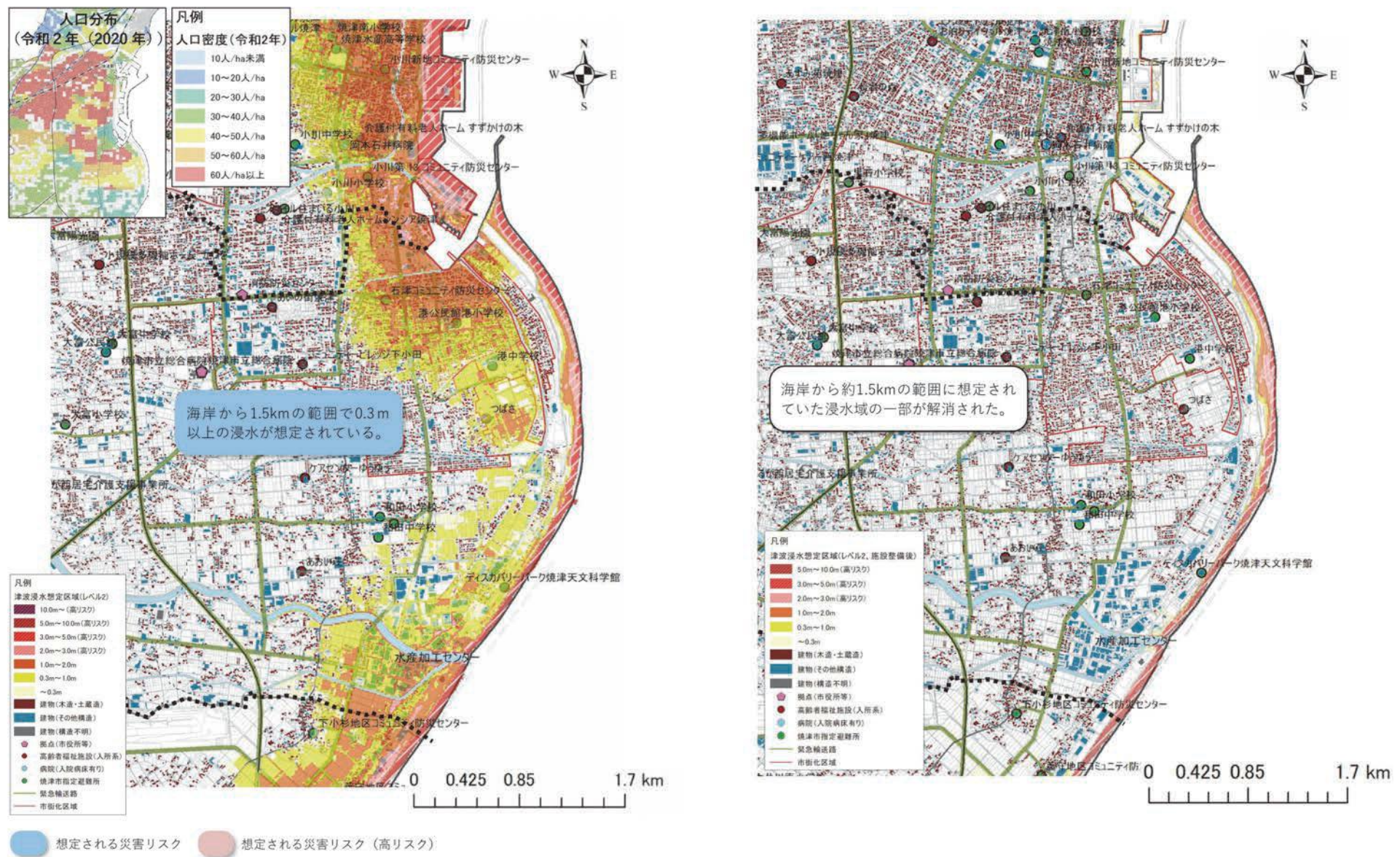


図-80 港・大富・和田地域における津波浸水想定区域（レベル2）（左図：津波対策施設の整備前、右図：津波対策施設の整備後のシミュレーション結果）

以下に大井川東・西・南地域における津波対策施設の整備前後の津波浸水想定区域（レベル2）を示します。

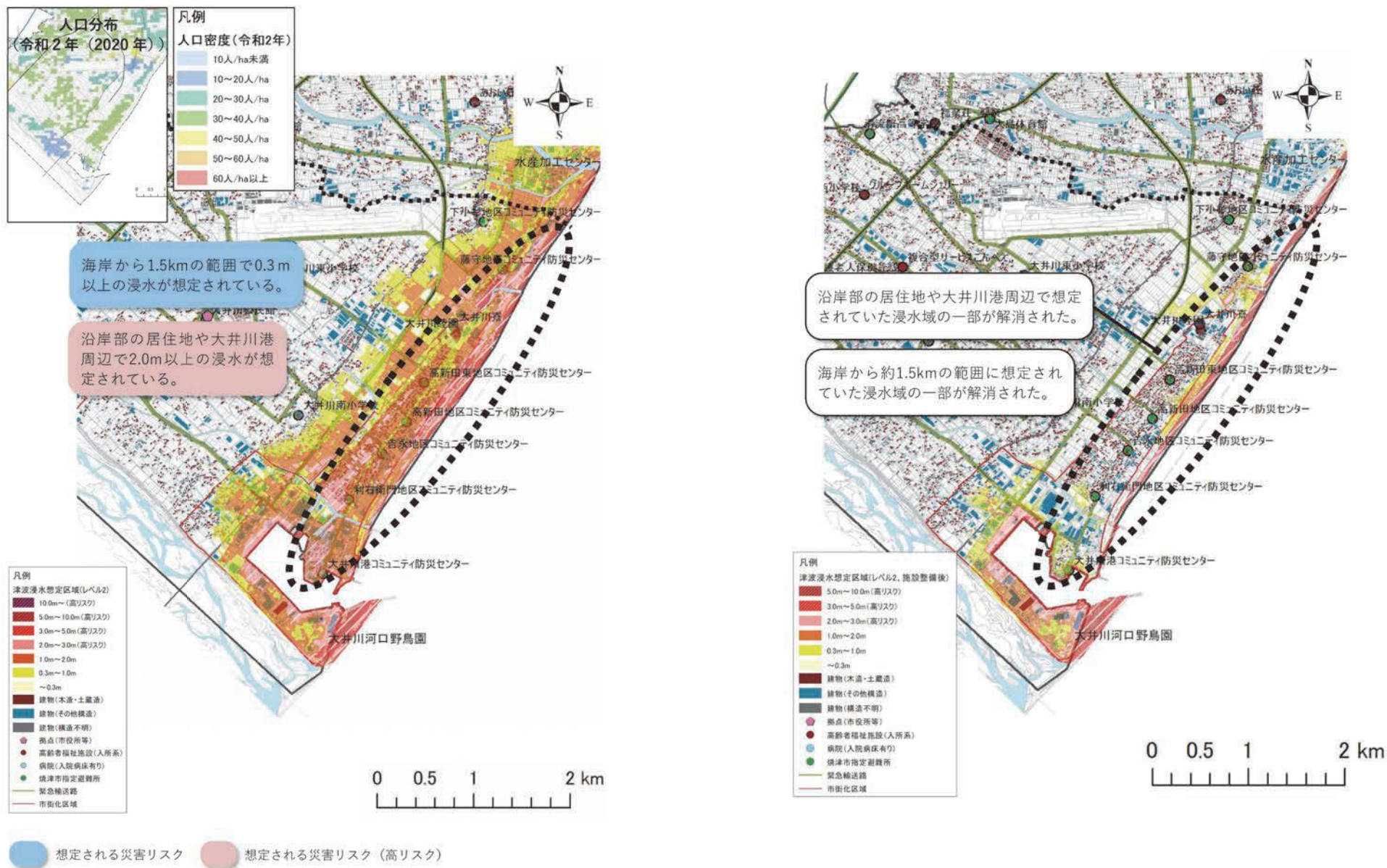


図-81 大井川東・西・南地域における津波浸水想定区域（レベル2）（左図：津波対策施設の整備前、右図：津波対策施設の整備後のシミュレーション結果